

キャリアコンサルタントから学ぶ将来に向けたキャリア

<研修のポイント>

「キャリア」とはそもそも何か、キャリアという言葉の持つ意味や考え方、転職をめざす場合に必要なことや注意点を、キャリアコンサルタントの視点から解説します。
学習内容は、キャリアとは、キャリアを考える時のポイント、転職を目指す場合に必要なこと、派遣社員としてスキルを上げるコツ、です。

■ キャリアとは

1-1. キャリアという言葉のもつ意味

仕事を中心として考えた「人生全体」
大きな意味で「人生全体」

■ 人が仕事を選ぶ理由



仕事を選択することは、人生に大きく関わる

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

1-1. キャリアという言葉のもつ意味

仕事を探していると、「キャリア」という言葉を耳にする事が多いのではないのでしょうか。ここでは「キャリア」とは、どのような意味なのか。また、今後の長い目でみた仕事探しにおいて、どのようなことを考えていけばよいかキャリアコンサルタントの視点から学びます。

「キャリア」、という言葉が持つ意味について説明します。

言葉の説明や定義には、様々な説や考え方があります。ただ、その基本は、「仕事を中心として考えた人生全体」、大きな意味で「人生全体」という意味があります。

なぜそのように大きく捉えるかと言うと、人は様々な理由から仕事を選択します。ある人は「自分がやりたいこと」を選ぶでしょうし、また、別の人は「収入のため」ということもあります。家族の事情により、その仕事をしなければならないという人もいるかもしれません。仕事を選択することは、人生に大きく関わってきます。

1-2. 仕事を選択する理由

選んだ仕事で生活が変わる

・小売・接客業に就く → 休日・土日に働く
交友関係が変わる

生活が変わることで、ワークスタイルが変わる

・家庭を持つ → 仕事を辞める
・子どもが産まれる → 働き方を変える

「仕事」と「人生」は、切っても切れない関係

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

1-2. 仕事を選択する理由

また、選んだ仕事によって、生活が大きく変わることがあります。例えば小売業や接客業など土日に働くのが通常の仕事では、人々が休んでいるときに働き、人々が働いているときに休むこととなります。それによって以前とは交友関係が変わることもあります。また、家庭を持つことや、子供が生まれることにより、仕事を辞めたり、働き方を変えなければならぬ事もあります。そのように、「仕事」と「人生」は切っても切れない関係にあり、仕事だけ、人生だけを設計することは難しいのです。

1-3. 仕事面からみたキャリア

・「経験」 ・「能力」

例：面接の場面

「あなたのこれまでのキャリアはどのようなものですか？」

<質問の意図>

どんな職場（業界、業態）においてどんな仕事経験を、どのくらいしてきているか。
その経験と生来の性格や行動パターンからどのような能力を持っているか。

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

1-3. 仕事面からみたキャリア

仕事に限った面だけからキャリアという言葉を考えて「経験」と「能力」と言うこともできます。例えば、面接などで「あなたのこれまでのキャリアはどのようなものですか？」と訊かれれば、それは人生について訊かれているわけではなく、これまでどのような仕事を体験し、今、何ができるのか？と訊いています。そして、その経験の積み重ねや、性格や行動パターンからその人がどのような能力を持っているのかを合わせてキャリアと呼ぶことがあります。

1-3. 仕事面からみたキャリア

営業職未経験 Aさん



未経験なのに
よく頑張ったね。

営業経験5年 Bさん



もっと頑張ってもらわなくては。



経験や能力により、雇う側からの「期待値」も上がる

(このくらいのことはできて当たり前)

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

社会人経験1年で営業職未経験のAさんと、他の会社で5年間営業経験のあるBさんが同時に入社して、同時に仕事をスタートしたとします。それぞれにどれだけの成果が期待されるでしょうか。もし仮に、3か月後、この2人が同じ100万円の売り上げ成績だったとした場合、おそらく上司はAさんには「営業が未経験なのに、よく頑張ったね」と言うでしょう。しかし、Bさんに対しては「営業未経験のAさんと同じ成績では困るな、もっと頑張ってもらわなくては」と言うのではないのでしょうか。経験や能力により、会社側つまり雇う側からの「期待値」は上がっていることを、忘れないようにしましょう。

1-3. 仕事面からみたキャリア

・転職面接の場面

「3年の業務経験があれば、こんなこともできるはず。」

採用側の期待値



経験年数に見合った仕事経験や能力をもった人を採用する

キャリアは自ら、常に高めていく意識と行動が大切

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

これは転職の面接の時も同じことが言えます。「3年の業務経験があれば、こんなこともできるはずだ」という「採用側の期待値」を満たす経験がある人は、転職の時に比較的仕事が決まりやすいでしょう。仕事経験、能力という意味でのキャリアは自ら常に高めていく意識と行動を起こすことが大切です。

■ キャリアを考える時のポイント

2-1. キャリアを考える

したいこと

- ・どんな仕事がしたいのか、得意なことは何か
- ・プライベートとのバランス

できること

- ・仕事経験、スキルを活かす
- ・優先すべきことのために、出来ることをする

しなければ
ならないこと

- ・仕事以外（家庭、収入・・・など）を優先する
- ・周囲や、おかれた環境に応じて選択する

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

2-1 キャリアを考える

今後のキャリアを考える上では、大きくわけて3つのポイントがあります。

まず1つ目の、「したいこと」ですが仕事を選ぶ上で、自分自身がどんな仕事をしたいのか、どんなことが得意なのか、が重要になります。

人によってはプライベートと仕事のバランスをうまく取れるという点から仕事を選ぶ人もいます。例えば、趣味の習い事を優先するために残業のない仕事を選ぶ場合もあるでしょう。

次に、「できること」から仕事を選ぶという選択肢もあります。自分がこれまで長年経験し熟練してきた能力を活かせる仕事に就くというのは、一番、採用されやすい仕事の選択の仕方です。また、本当にやりたい事は別があり、それを実現するために今は、出来ることをして収入を得るといった場合もあります。

最後に、「しなければならぬこと」からキャリアを選択することもあります。好きな仕事でも収入面が厳しく、家族を養うために転職したという例もあります。家庭を持っている女性が夫の転勤先についていくため、転職をしなければならなくなったという例もあります。そのように、自分自身だけの都合や選択ではなく、周囲や環境が求めることに応じて、仕事を選ぶことも一つのキャリアの選択です。

2-1. キャリアを考える

環境と折り合いをつけ、その時できる限り納得感の高いキャリアを選ぶことが大切。

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

「したいこと」「できること」「しなければならないこと」の3つが重なったところにある仕事をするのが、最も充実感が高いと言われています。
 社会に出た最初の時からそのゾーンに入る仕事をし、それをずっと続けていられたら良いのかもしれない。ですが、そう上手くいくことばかりではありません。
 経験を重ねながら、自分の周りの環境とも折り合いをつけて、その時々、できる限り自分と周囲の納得感の高いキャリアを選んでいくことが大切です。

2-1. キャリアを考える

何をキーポイント（軸）にし、具体的な仕事を選ぶか？

自分が優先する軸と、将来の目標や状況を踏まえて、雇用形態を選択することが大切

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

具体的に仕事を選ぶ場面を考えてみましょう。まず、それぞれのポイントの中で、何を優先するかを決めます。
 例えば、スキルを活かしてやりたい仕事に就くことを目指すのであれば、「したいこと」と「できること」の軸を優先することになります。
 未経験から就きたい仕事を目指すのであれば、「したいこと」を一番優先して考えることになります。
 将来の目標を持って、仕事を選ぶ時も、「したいこと」や「できること」を優先していることになりますね。このほか、子どもの送り迎えのため、短時間勤務をする、または家族を養うために収入の高い仕事を選ぶ、という選択をする場合は、「しなければならないこと」を一番優先して考えることになります。
 自分が優先する軸と、将来の目標や状況を踏まえて、雇用形態を選択していくことが、とても大切です。

2-2. 具体的な仕事選び

	メリット	デメリット
正社員	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の幅が広く、責任ある仕事を任される（昇進のチャンスあり） ・無期雇用である ・福利厚生も比較的よい 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任ある業務のプレッシャーがある ・拘束時間が長い傾向 ・転勤や異動がある
契約社員	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容・福利厚生は正社員と同等の場合が多い ・未経験者でも正社員よりは採用されやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・有期契約である ・正社員同等の賞与ではないことが多い ・昇進の可能性は低い
派遣社員	<ul style="list-style-type: none"> ・希望条件にそった派遣先を紹介してもらえる ・専門スキルを活かせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・有期契約である ・1回の契約期間が短い ・未経験職種には派遣されにくい
パート・アルバイト	<ul style="list-style-type: none"> ・未経験から経験を積めるチャンスがある ・勤務の融通がつけやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・有期契約である ・業務範囲が限定的 ・雇用が不安定になりがち

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

2-2 具体的な仕事選び

軸が決まったら、後はその軸を実現させるために一番適した働き方や雇用形態を考えます。会社に勤める場合は、正社員、契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、という雇用形態が代表的です。それぞれの主なメリット、デメリットは表の通りです。

2-2. 具体的な仕事選び 事例①

★したいこと優先

Aさん：28歳女性

経験はないが経理に興味があり、簿記3級を取得。まずはこれまでの業務経験を活かし、一般事務をメインとしつつも、経費処理・請求書処理といった、経理的業務が入る仕事を探し就業開始。周囲にも、簿記を勉強していることを伝え、できる限り経理的な仕事を回してもらえようアピールしつつ就業中。



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

事例をみてみましょう。

Aさんの場合は、したい事優先でキャリアを選択することにしました。将来的には経理の仕事につきたい、と目標を立て、簿記3級の資格を取得。これまでの経験を活かせる一般事務の中でも、経費処理や請求書処理など、少しでも経理的な仕事が入る仕事を探して就業開始。周囲に簿記を勉強していることを伝え、できるだけ経理的な業務を回してもらえようようにアピールしながら就業中。

2-2. 具体的な仕事選び 事例②

★しなければならないこと優先

Bさん：35歳女性

英語が得意。英文事務を活かしたいが、子どもが大きくなるまでは勤務条件で仕事を選ぶことにする。自宅近くの不動産会社にて、パートタイム勤務で事務処理や電話対応など、一般事務を担当。英語については、時間を見つけて問題集をやったり、ラジオやテレビの英語教材を見聞きし、スキル維持できるよう努力中。



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

次にBさんの例です。

英語が得意で英文事務経験があります。ただ今は子育て中で仕事との両立が最優先です。子どもが大きくなるまで、と自宅近くでパートタイム勤務の仕事に就きます。事務処理や電話対応などの一般事務を担当し、英語とは離れた仕事内容です。しかし、時間を見つけて英語の問題集で学んだり、ラジオ・テレビの英語教材を活用し、スキル維持に努めています。いかがでしょうか。自分がどんな軸を大切にキャリアを選ぶかを決めると、自然と次に目指す仕事内容が決まってきます。ぜひ、参考にしてみてください。

■ 転職を目指す場合に必要なこと

3-1. 日頃から考え準備するポイント

①自分がアピールできる能力を身につけておく

- ・自分の得意・不得意なことに意識を向け、日々の仕事をする
- ・得意だと確認できたことは、更に伸ばせる
- ・不得意と思うことは、克服しようとする



面接直前になってから考えるのでは時間が足りない。
「得意」「不得意」「アピールポイント」を日々意識。

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

3-1. 日頃から考え準備するポイント

正社員や契約社員を希望し、転職を目指す場合に必要な事についてみていきましょう。転職をする際、つまり面接を受ける直前になって困ることがないように、日頃から考え、準備をすべき重要なポイントについて確認しましょう。

1つ目は「自分がアピールできる能力を身につけておくこと」です。

自分のアピールポイントといわれると、すぐに思いつかない方もいますが、仕事経験がある方でアピールポイントが全くないという事は、殆どありません。すぐに思いつかない場合は、ぜひ自分の得意・不得意なことに意識を向けて、日々の仕事をするようにしましょう。自分のアピールポイントはここだ、と意識する事ができ、得意だと確認できた事は、更に伸ばす努力が出来ます。また、不得意と思う事は克服しようとする事もできます。

面接直前になってから考えるのでは時間が足りず、アピールができないまま面接が終わってしまうということになりかねません。日頃から、自分の得意・不得意、アピールポイントを意識しながら仕事をしましょう。

3-1. 日頃から考え準備するポイント

②ある程度の年数は「一貫した仕事経験」を積んでおく

- ・仕事経験の長さ=熟練度
- ・仕事内容を次々変えると、「幅広く経験した」といえるが、1つのことについては「浅い」経験にとどまる



3～5年程度、一貫した経験を何か1つでも持つておく

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

2つ目は、ある程度の年数は「一貫した仕事経験」を積んでおく事です。仕事経験の長さイコール仕事の熟練度と考えるのが一般的です。自分自身も、ある程度長く続けたことには自信が持てると思います。

仕事内容を次々と変えると、「幅広く、色々な仕事を経験した」とは言えますが、1つの事について「浅い」経験にとどまってしまう為、業務に精通しているとは言いづらくなります。

また、仕事内容が次々変わるの、採用担当者から「1つのことが長く続かないのでは？」と思われるまいかれません。ある程度の年数、例えば3～5年程度は一貫した仕事経験を何か1つでも持つておきたいものです。その点についても意識的に考えて、仕事を選びましょう。

3-1. 日頃から考え準備するポイント

③小さなことでも「これはやり遂げた」といえる

「仕事上の実績」を作っておく

- ・「処理件数が一番多かった」「ミス・漏れは全くない」
- ・日々仕事をする上で何か小さな目標を作り、達成する



些細なことでも改善行動をし、部署にプラスαの貢献を
「主体的」「積極的」に仕事上の実績を積もう

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

更にもう1つ大事な事は、小さな事でも良いので「これはやり遂げた」と言えるような「仕事上の実績」を作っておく事です。仕事上の実績といっても、難しく考える必要はありません。例えば、営業事務であれば、同じ仕事をしていた人の中で処理件数が一番多かった、ミスや抜け漏れは全くなかった、というような事でよいのです。日々、仕事をする上で何か小さな目標を作り、それを達成することで「実績」を積み重ねていきましょう。

また、理想的には「何か職場での改善を行った」という事が実績になります。例えば、所属部署では営業部員の名刺が切れてしまってからオーダーすることが多く、名刺がない状態が何日も続いて困っていた、という状況があるとします。そこで、名刺のオーダー記録表を作成し、その表を毎月あるいは隔週でチェックして、名刺が切れる前にオーダーをかけるルールを作り実行した、という改善です。些細な事でも改善行動をし、その部署の仕事にプラスαの貢献をした、このような事は自ら「主体的、積極的」に行った仕事上の実績としてアピールができます。このように日々考えながら工夫をすれば、たくさんの「実績」を作っていくことができます。以上のようなことを常に意識し、ぜひ実行してみてください。

3-2. キャリアビジョン

自分がこの先どのように働いていきたいのか、生きていきたいのか、ある程度のビジョンを持つておく

将来のありたい姿を **ビジョン** といいます。

「一つのところで長く働きたい」 → 「長く」とは？
 少なくとも、10年先くらいには、どんな風に暮らしていきたいか考える。

◇ライフイベント  ☆家庭  ◎仕事のポジション

結果として、ビジョン通りでなくなったとしても、自ら考える意義は大きい

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2. キャリアビジョン

更に、「自分がこの先どのように働いていきたいのか、生きていきたいのか、ある程度のビジョンを持つておく」ことも大切です。転職を考えた時、「一つのところで長く働きたい」と言われる方が多くいらっしゃいます。その「長く」とはどのくらいを考えているのでしょうか？

仮に、30代半ばで転職をしたとして、65歳が定年の会社であれば、30年間の会社員生活があります。その30年間をきっちりプランしておくのは難しいと思いますが、少なくとも10年先くらいには、どんなふうに暮らしていきたいかを考えられると良いでしょう。

そういった将来のありたい姿を、ビジョンと言います。

自分の10年間の人生にどんなイベントが起こりそうか、家庭生活はどうするのか、どんな仕事をして10年後には会社でどんなポジションにいたいのか、それは可能かどうか、など、おぼろげながらも、全く考えないのと考えるのとでは、転職における心構えが違ってきます。面接で将来像を訊かれた時の答え方も違って来るでしょう。結果として想像したこととは違うことが起こってビジョン通りの人生ではなくなったとしても、自ら考えることの意義は大きいものです。

3-3. キャリアプラン

ビジョンを基に、キャリアプランを立てる
 (1年後、3年後、5年後などの目標を決める)

〈例〉 目標：3年後に英文秘書になりたい
 → TOEIC●●●点取るために、今勉強する
 → 秘書の経験を今の仕事の中で積み重ね、能力を磨く

自ら考えてキャリアプランを立て、必要な経験やスキルを身につけていく

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

3-3. キャリアプラン

更に、そのビジョンがはっきりしていればいるほど、そのために必要なことを時間をかけて達成する事ができます。それがキャリアプランです。何年後までにこうなりたい。そのためには、今、これをやる必要がある、というように考えます。

例えば、3年後に英語を使って英文秘書になりたいという目標を立てたとします。1年後にはTOEICで何点を取れるように今勉強をしなければいけないと考えますし、さらには秘書としての経験を、今の仕事の中で積み重ね、能力を磨かなければいけません。何もせずに3年たって、その時点ですぐ英文秘書になりたいと思っても、それまでの積み重ねがなければ難しいでしょう。このように、キャリアは自ら考えて、プランを立て、実行することが一番確実に実現できる方法です。

3-4. まとめ

キャリアはすぐに築けるものではない

チャンスをキャッチできるよう、日頃から意識して行動することが大切。

将来のビジョンを描きながら、必要な準備をしていこう。



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

これまでの内容をまとめます。

まず、キャリアはすぐに築けるものではない、という事を、ぜひ心に留めておいてください。自分が希望する仕事に就けるかもしれないチャンスが来た時、経験が足りない、能力が足りないとチャンスを活かさないのではなく、そのチャンスをキャッチできるよう、日頃から意識と行動をしていきましょう。

そのためには、おぼろげでも自分の将来のなりたい姿、ビジョンを思い描きながら、日々の仕事や、仕事以外でも将来につながることに意識的に取り組むようにしましょう。

■ 派遣社員としてスキルを上げるコツ

4-1. 派遣社員に求められているものは

「即戦力」を期待されている

即戦力となるためには？

◇業務経験

新しい仕事も短時間で理解し、成果を出しやすい

◇適応力・順応性

新環境にすぐ慣れる

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

4-1. 派遣社員に求められているものは

派遣社員に、企業が求めていることは、どのような事でしょうか。

企業はすぐに戦力になる人材がほしい場合に、派遣会社を通じて経験を持った人を派遣社員として受け入れます。そのため、派遣社員にはすぐに戦力になることが期待されています。では、「即戦力」となるためには何が必要でしょうか。最も必要なものは「経験」です。経験が豊かな人は、新しい仕事も短時間で理解し、成果を出しやすいと判断されます。その為、企業が一番求めるのは、業務経験になります。

更に、新しいことや以前とは少し違うやり方などに順応する力が高ければ、すぐに新しい環境に慣れて即戦力となれるでしょう。その為、その人の基本的な能力「適応力」、「順応性」も重要な要素となります。

4-1. 派遣社員に求められているものは

職場 = 人間の集まり

以前の職場と業務内容がほぼ同じでも、必ず即戦力になれるとは限らない

新しい人間関係



「誰と一緒に・どのようにするか」が仕事にかかわってくる

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

しかし、実際の職場ではそれだけでは済まないことがあります。それは、職場というのは人間の集まりだからです。仮に、新しい職場で行う仕事が以前の職場とほぼ同じ内容だったとします。それなら必ず即戦力になれるか？と言うと、必ずしもそうとは限りません。そこには新しい「人間関係」があるからです。同じ仕事をしたとしても、「誰と一緒に、どのようにするか」によっては、仕事が上手いかない事もあります。

4-1. 派遣社員に求められているものは

〈例〉

A社

- ・アットホーム
- ・みんな顔見知りになれるくらいの規模

B社

- ・広いフロアに何十人も
- ・業務縦割り
- ・ビジネスライク

雰囲気戸惑い、頼みごとや教えてもらうことを躊躇してしまい、緊張のため仕事をスムーズにこなせない



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

一つの例を紹介します。

Aという職場ではとてもうまく仕事できていたのに、Bの職場に派遣されるようになった途端、仕事が上手いけなくなったという例です。A社は小さなアットホームな雰囲気、かわる人の数はさほど多くなく、みんな顔見知りになれるくらいの規模でした。一方B社は広いフロアに何十人も社員がいる環境で、業務も縦割りで、同僚との関わりも少なく、ビジネスライクな雰囲気での会社でした。

B社の雰囲気に戸惑い、ちょっとしたことを頼んだり教えてもらうことも躊躇し、緊張のため立て続けにミスをしてしまい、上長からも叱られ仕事がスムーズにこなせなくなってしまうというケースです。

4-1. 派遣社員に求められているものは

◇業務経験

新しい仕事も短時間で理解し、成果を出しやすい

◇適応力・順応性

新環境にすぐ慣れる

◇柔軟性・素直さ・気配り

周囲に合わせる柔軟な態度

アドバイスを素直に受け取る

ちょっとした気遣いで周囲とうまくやる「ヒューマンスキル」

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

そのような時に大切なのが、「柔軟性」、「素直さ」、「気くばり」などの能力です。違うタイプの職場では違った形で周囲の人と人間関係を築いていく必要がありますし、そのためには自分のやり方や考え方だけにこだわるのではなく、周囲に合わせる柔軟な態度、アドバイスを素直に受け取る姿勢、ちょっとした気遣いで周囲とうまくやっていくような「ヒューマンスキル」と言えるものを持つことです。これはなかなか難しいですが、失敗や試行錯誤を重ねながらスキルを身につけていくことが、結果、派遣社員としてスキルアップし、高い評価を得たり、仕事を長く続けていけるコツになります。

4-2. 「辞めないで」といわれる人材とは

- ・業務能力が高い
- ・経験が豊かで業務知識が豊富
- ・仕事を頼みやすい雰囲気
- ・気が利き、仕事上でプラスαを返してくれる
- ・誰とでもよい人間関係を築く力がある

目標を持って仕事をすることで人はより成長する

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

4-2. 「辞めないで」といわれる人材とは

周囲から「あなたに辞められたら本当に困ってしまうなあ」と言われる人はどんな人でしょうか。業務能力が高く、経験が豊かで、業務の知識が豊富であること、さらに人柄が良く、周囲から「仕事を頼みやすい」と言われること、また、いわゆる「気が利く」、相手のニーズを察して先回りして動くことができ、相手が言わなくても、何か仕事の上でプラスαを返してくれるような人、そして、どんな環境にあっても、誰とでも良い人間関係を築く力がある人と言えるでしょう。このようにまとめると、そんなに何でもできるスゴイ人なんてそうそういるもんじゃないと思われるかもしれませんね。

これはあくまでも「理想形」ですが、全てをパーフェクトにできないとしても、いつかこのようになれるよう、目標として心の中に留めておきましょう。目標があって仕事をする場合と、言われるがまま何となく仕事をしているのとでは、その人の成長に大きな違い出てくるからです。ぜひ目標は高く持ちましょう。

4-3. 長く働き続けるためには

◇与えられた仕事に「プラスα」を常に意識

例：【ファイリング】

きちんとファイルをする



- ・取り出しやすいように見出しを付けてみる
- ・一覧表を付けて返す

ちょっとしたことをプラスするだけで、周囲の評価は変わってくる！

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

4-3. 長く働き続けるためには

最後に、派遣社員として長く働き続けるために、大切なポイントをお伝えします。与えられた仕事をただきちんと終わらせて満足するのではなく、「プラスα」の何かを依頼者に返すことを常に意識しましょう。例えば、資料のファイリングを頼まれた時などでは、きちんとファイリングをして終わりにするのではなく、ファイリングした資料を取り出しやすいように見出しを付けてみる、資料の一覧表を付けて返すなど、ファイリングのルール作りまでしていきましょう。工夫や、改善できるポイントは探せばたくさんあります。そういうちょっとしたことをプラスするかしらないかだけでも、周囲の評価は変わってきます。

4-3. 長く働き続けるためには

◇自分の能力開発は主体的に

自ら「学ぶ」「向上する」努力をする

◇対人対応能力を磨く

相手の意思や感情も大切につつ、自分の気持ちや考えを率直に、かつ適切に表現できるようにする
「対人対応能力」は周りの人とより良い人間関係を持つためのコミュニケーションスキル



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

また、自分の能力開発は自分でやる意識が大切です。「学ぶ」「向上する」ことを主体的に自分から求めていくようにしましょう。加えて、どんな人ともうまく関係を築ける対人対応能力を磨く事が、とても大切です。

もちろん、派遣された職場にはいろいろな人がいて、中には接するのが難しい人、こちらが誠意を見せてもそれに応えてくれない人もいるでしょう。それでも、相手が悪いと思ってしまうと、それ以上その人とのコミュニケーションを改善する余地はなくなってしまいます。誰であっても、接し方、付き合い方によっては上手くやっつけていけるケースもあります。それもまた1つの「能力」、「対人対応能力」と言えます。様々な職場を経験する可能性があるということは、多種多様な人と接することが多いということですから、この能力を鍛えることは最も重要であると言ってもよいでしょう。今はコミュニケーションが苦手と書いていても、ぜひ前向きに取り組んでみてください。